水質事故

早期発見 早期対応



▲油吸着型オイルフェンス、マットによる油の回収



▲土のうによる簡易油水分離施設



▲可搬式オイルフェンスによる油流出防止

油流出事故を起こした場合、発見した場合は、お近くの国や県の機関、市町村役場、消防署、警察署へご連絡ください。

米代川水系水質汚濁対策連絡協議会

事務局／国土交通省 能代河川国道事務所 河川管理課 TEL 0185-70-1246(平日)／0185-70-1001(夜間休日)

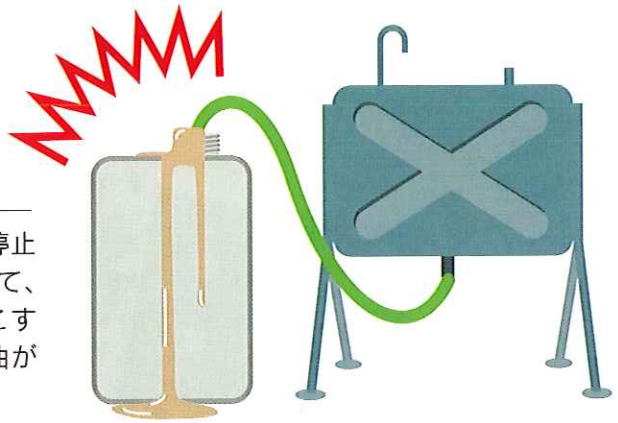
水質事故の多くは油事故です

【その原因の大半は“不注意”によるものです】

家庭で

給油の時そばを離れない

最近は電動式の給油ポンプが多く使われています。自動的に停止する装置がついていても目を離したすきにポンプが傾いたりして、あふれてしまうことがあります。あふれた灯油は火災をおこす危険があり、また川に流出して汚染の原因となります。給油が終わるまでは、決して目を離さないようにしましょう。



事業所で

バルブ等の操作ミス

クリーニング店・乳業店・コンクリート工場・食品工業・酒蔵工場・建設会社・工事現場・ホテルなど主な機械系統の故障、バルブ等の操作ミス。

工場・事業所での操作上のミスや管理の不徹底



消防法では、危険物施設の区分毎に定期点検の時期や内容が定められています。法令で定められた定期点検を確実に行うのはもちろんですが、事故を防ぐためには毎日の作業の中に点検が組み入れられ、それが日常化する事が大切です。

点検を日常化しましょう

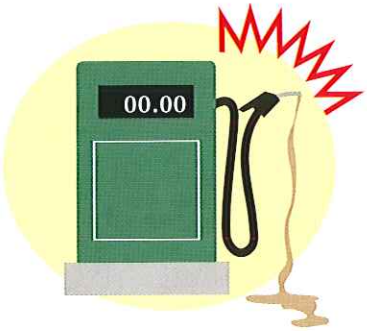
- **いつ** 始業前・終業後には、毎日必ず点検をします。
- **どこを** 危険物を貯蔵したり、取り扱ったりする設備は特に重点的に点検します。
- **だれが** 資格を持った危険物取扱者が点検しなければなりません。
- **どのように** 法令に定められた点検方法に準じ、また必要と思われる時には随時点検します。
- **どうするか** 定期点検に準じて結果を記録します。異常を感じた場合はただちに必要な処置をします。



廃油の管理

自動車工場、廃車置き場など

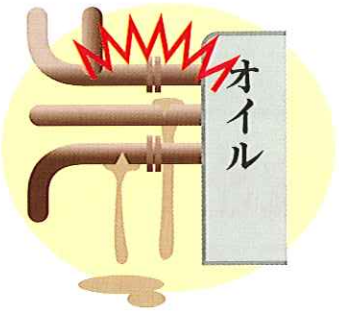
《事例》
工場の操作上のミスや管理の不徹底による油の流出。



油水分離槽の管理

ガソリンスタンドなど

《事例》
分離槽の日常管理をしないために油が排水溝に流れた。



冷暖房用の燃料管理

ホテル・工場・学校・会社

《事例》
地下燃料タンクやその配管の老朽化による油もれ。